

サステナドーム“ジュニアSDGsキャンプ”における次世代への継承プログラム

①実施概要

持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development : ESD）の推進のため、子ども、若者向けESD施設「サステナドーム」において、環境問題、SDGs全体について子ども・若者が考え、国際交流しつつアウトプットする場、学びの場を提供します。また、開催に先立ち、国内外の学校等と連携し、事前学習、探究学習の時間を活用したプログラム作成を行います。

（実施主体）環境省、民間事業者・団体

（実施場所）会場内「サステナドーム」

（実施期間）会期中（プログラム作成等は会期前）



<会場イメージ>

②今後の実施方針

- ・国内と海外の若者の協働による、アジア地域における環境課題を解決するための合同ワークショップの実施及び動画、映像等コンテンツの制作。
- ・能登半島地震等の被災者とともに、震災の経験を継承するとともにこれからの未来を考える場を提供するための動画、映像等のコンテンツ制作。
- ・国連大学と協力し、ESDの国際的な取組であるESDに関する地域拠点（RCE）や環境大学院ネットワーク（ProSPER.NET）を活用し、社会の持続可能な未来に向けた情報発信を行うための動画、映像等のコンテンツ制作。

③予算

令和6年度補正予算額 50 百万円

<https://www.env.go.jp/content/000268680.pdf>

④工程表

2024年度

2025年度

合同ワークショップの開催、動画・映像コンテンツ制作、プログラム作成

サステナドームにおいて、
プログラム、コンテンツの提供、展
示